

平成 24 年 4 月 11 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 社長室長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2641

**NF- $\kappa$ B デコイオリゴの医薬特許が成立(日本)**  
**－椎間板変性症、腰痛などが対象－**

当社は、日本において、椎間板変性症、腰痛、脊柱側弯症、頸部痛、ヘルニア、および脊柱管狭窄症(脊柱狭窄症)を対象とする NF- $\kappa$ B デコイオリゴの医薬用途特許が成立し、本日、特許公報(特許第 4913072 号)が発行されましたことをお知らせします。

本特許は (1)NF- $\kappa$ B デコイオリゴのアトピー性皮膚炎治療薬、(2)透析シャント用 NF- $\kappa$ B デコイオリゴ塗布型 PTA バルーンカテーテルに続く新たな開発プロジェクト候補の一つを、長期にわたり強力にサポートするものです。

椎間板変性症とは、背骨を構成する椎骨の間でクッションの役目を果たす椎間板が、老化や激しい運動などにより変性が生じ厚みが薄くなり、クッションとしての機能が低下して起こる疾患です。

壮年期から老年期に多く見られ、最初は無症状ですが、徐々に変性が進行すると共に体を動かすと変性した部位に痛みが生じるようになります。従って程度の違いはあれ、ほとんどの人に認められる加齢に伴う生理的な変化であり、特に頸椎(けいつい)や腰椎に起きやすく、変性が発生する場所によって、腰痛、脊柱側弯症、頸部痛、ヘルニア、および脊柱管狭窄症(脊柱狭窄症)などとして発症し、重症化すると激痛を伴うため手術が必要となります。

本特許はラッシュ大学(米国イリノイ州シカゴ)との共同研究に基づく成果であり、米国、欧州においても特許登録済で国際開発をカバーしております。(US7585848B2、EP1841463B1)

なお当社は現在、NF- $\kappa$ B デコイオリゴの最初の開発プロジェクトとして、塩野義製薬株式会社とアトピー性皮膚炎に対する共同開発を進めており(平成 22 年 12 月 27 日付プレスリリース参照)、さらに本プロジェクトに関連して、株式会社メドレックスと経皮製剤技術の導入に関するライセンス契約を締結しております(平成 23 年 3 月 31 日付プレスリリース参照)。また2番目の開発プロジェクトとしては、透析シャント用 NF- $\kappa$ B デコイオリゴ塗布型 PTA バルーンカテーテルをメディキット株式会社と共同開発しており、先日、臨床試験を開始しました(平成 24 年 3 月 28 日付プレスリリース参照)。

本特許は、これらに続く3番目の開発プロジェクト候補の一つとして位置付けられます。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上